



宇宙より天国近し初湯浴び

柳 紅生

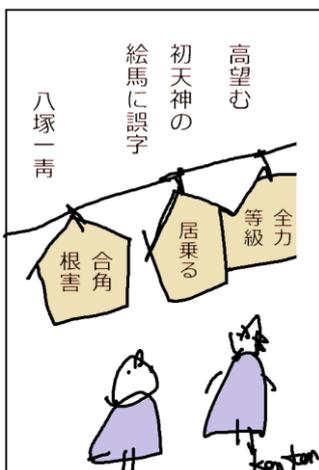
いい湯だなハハ～♪ こりゃあ極楽じゃ。極楽は天国にあるなあ。こんな身近に天国があるとは有り難い。天国より宇宙の方が遠いことを発見。



若者のやばいやばいと食うおでん

壽命秀次

若者の使う「やばい」は、「素晴らしい」とか「美味しい」などの肯定的な意味。新語にやついていけんと言う人は、本来の意味の「やばい」ですぞ。



高望む初天神の絵馬に誤字

八塚一青

これは、ちと恥ずかしい。この国語力で、この大学の合格祈願と言われてもなあ。頼まれる神様も、これでは応援する気が失せるというもの。



安堵にも疲れのまじる大晦日

井口夏子

分かる分かる。疲れるほど頑張ったということよ。若い時と違って、無理をすると疲れという副産物がついてくる。そろりそろり脳天気で行こう。



へそくりの見つからぬまま掃納

久松久子

もしかしたら、隠し忘れたままのへそくりが出てくるかも。期待を胸に年末の掃除をしてみたが、結局発見できず。なんだかどっと疲れが出るね。



新鮮を競う初日とビアの泡

花岡直樹

ビールの泡ごときと比べられては初日も不機嫌になるだろうね。しかし、直樹君にとって大切なのはまずビール。正直がよろしいね。発想も新鮮。